

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	希望される方の買物支援は行っているが、頻度の減少に伴い体力や機能(下肢筋力)低下が顕著に見られる。 毎日のように外出を希望される方はストレスになっている方もいることから、散歩(機能訓練)など外出の時間を増やしていきたい。	体力・機能低下を防ぎ、現状維持向上を目指す	・現状での外出支援や機能訓練など実施のため、業務内容見直し。確実に実施できる体制作り。 ・レク委員会の充実した活動	3～6ヶ月
2	19	アンケートからも家族とのコミュニケーション不足が見られる。 最期まで本人らしい生活が送れるよう、家族と共に支えていく関係の見直しが必要。	家族とのコミュニケーション不足の解消	・本人の状態に変わりがない場合でも定期的に連絡を取り、家族の近況等も把握しておく。 ・家族による支援協力の機会を増やす。(外出や外泊、受診介助、衣替えや居室整備など) ・施設内行事や外出レクへの家族参加の促しと協力依頼。 ・本人や家族の希望に添った終末期が迎えられ るような支援と家族の精神的な支援の体制作り。	6～12ヶ月
3					
4					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。